

# 会 議 要 旨

(1/3)

会議の名称	第1回川越市観光振興計画審議会
開催日時	平成29年3月10日(金) 午後13時30分 開会 ・ 午後15時30分 閉会
開催場所	教育委員会室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 溝尾良隆
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 谷島賢 委 員 松山潤、山田禎久、佐藤由美子、清水雅子、正木一弘、遠藤久美子 計7人
欠席者(委員)氏名(人数)	副会長 安島博幸 委 員 栗原裕子 計2名
事務局職員職氏名	観光課 副課長 田中勝宏 主任 久保田哲 主任 榎本由香利 主事 石坂智子
傍聴人(人数)	なし
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 会長・副会長の選出 4 議事 第二次川越市観光振興計画(平成28年度～平成37年度)の進捗状況について 5 その他 6 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 資料1…第二次川越市観光振興計画について</li> <li>・ 資料2…第二次川越市観光振興計画の施策体系について</li> <li>・ 資料3…第二次川越市観光振興計画の数値目標の推移について</li> <li>・ 資料4…第二次川越市観光振興計画の進捗状況について</li> <li>・ 参考資料</li> <li>・ 川越市観光振興計画審議会条例</li> <li>・ 平成27年度川越市観光アンケート調査報告書</li> </ul>

## 議 事 の 経 過

## 1 開会（事務局）

## 2 あいさつ（事務局）

・委嘱書の交付、委員の紹介(自己紹介)

## 3 会長・副会長の選出

①委員の互選により、会長に溝尾委員、副会長に安島委員及び谷島委員を選出。

②会長の就任あいさつ

## 4 議事（会長）

## (1) 審議会について

審議に入る前に、新たに委員を委嘱して初めての会議となることから、

- ・会議の傍聴を認め会議を公開すること。
- ・市ホームページで会議要旨を公開すること

以上の2点について委員の承認を求める。 → 一同承認

## (2) 配布資料について

配布資料について事務局から説明。以下、委員からの意見・質問等。

## ○議題に関する意見・質問等

- ・施策5について…スポーツ観光とあるが、取組内容に「小江戸川越ハーフマラソン」を追加した方が良い。
- ・施策6について…コンベンション誘致の体制づくりが重要である。ホテル、大学、医師会などと協議会をつくり、実態の把握と積極的なセールスと受け入れを展開する。
- ・施策15、16について…「縁結び事業」について、作成した縁結びマップをどこで配布するかが重要と考えるが、配布場所の予定は？  
→（事務局）市内四大学、観光案内所及び協賛店舗への配架、また、氷川神社で行われる「縁むすび風鈴」での配布を予定している。
- ・施策17について…教育旅行の誘致については秩父市で先進的な取組を行っているので、参考にすると良いと思う。
- ・施策19について…取組事業に「東上線沿線サミット」とあるが、都内ホテルなどのコンシェルジュの方々をお招きするコンシェルジュサミットを行ってはどうか。
- ・施策20について…観光協会で検討しているサークルツーリズムは総合卸売市場を起点に考えている。今後さらなる連携が必要と考える。
- ・施策23について…伊佐沼のひまわりをPRした方がいい。補助金を出して推進していくと良い。
- ・施策31について…指さしコミュニケーションシートとあるが、紙媒体では限界があるため、アプリにして活用すると良い。

- ・情報発信について…動画で発信すると効果が大きい。動画の内容は、着物で格好良く歩く方法など、観光客に対してマナーの向上を啓発するような動画にするとなお良い。大田区の事例を参考にしよう。
- ・施策 45 について…パークアンドライドの環境が整っていない。駐車場から観光地への移動手段が不足していると感じる。巡回バスの停留場はあるが、看板がなく利用客が少ない。郊外型駐車場から観光地への無料バスを出すと良い。
- ・施策 46 について…土日のみ一番街の交通規制の実施を検討すべきである。
- ・施策 55 について…宿泊観光の施策が未着手となっているが、民間・ホテルと連携することが必要。都内に宿泊する観光客にPRできれば良い。
- ・施策 66 について…市民からの情報発信は重要な施策である。第一に取り組むべき施策だと思う。
- ・施策 70 について…掲載されている事業は主に事業者向けのもので、一般の市民対象ではないのでは？観光講座について、観光客と直接関わる人に参加してもらうことが必要である。参加者の意識改革につながるような講座になると良い。
- ・リピーターに関する施策は優先すべき施策と考える。観光アンケート等によって、観光客が何を期待して来たかを把握することが必要だ。
- ・施策によっては、今後深く検討していくべき施策がある。事業数が多いので、優先順位をつけた方が良い。
- ・きものの日やライトアップ、「英語が通じる町実行委員会」の活動など、すでに民間が主体となって実施している施策がある。観光課の人員は限られており、行政だけで取り組むのは限界がある。民間に任せられる事業は民間に任せてはどうか。一方で、交通対策などの施策は行政が主体となって取り組む必要がある。

#### ○その他の意見等

- ・インバウンド担当について…今後新事業としてインバウンド事業が増えていくと想定される。市の観光課にもインバウンド担当を設置すべきである。
- ・消費額について…SNS の反動で今の観光客は体験型の観光を求める傾向がある。体験型観光をPRして消費額を高めることが重要である。
- ・観光客数の統計について…実態を反映していない。集計方法の見直しが必要ではないか。有料施設のみを対象とすることや、月別で比較をして傾向を把握すること、ビッグデータを活用した統計手法などを検討してはどうか。
- ・行政、民間における、現在の問題点や課題を汲み上げる窓口を設置した方が良いと思う。そういったことを話し合う場として、この会議があるべきだ。
- ・会議に先立って、直近のイベントや新施設等の案内があった方がいい。

#### 5 その他

事務局から事務連絡。

#### 6 閉会